

給食センターが優秀賞を受賞
～全国学校給食甲子園決勝大会



12月6日、第10回全国学校給食甲子園決勝大会が東京で開催され、本市給食センターが九州・沖縄代表として出場しました。惜しくも優勝はならなかったものの、調理機器の有効活用に優れている団体に贈られる優秀賞を受賞しました。

給食センターは2回目の出場で、今大会には全国から2,054団体の応募があり、書類審査などを経て決勝大会に12団体が進みました。決勝大会には給食センター栄養教諭の山本愛さんと調理員の東美都代さんの2名が出場。地産地消にこだわった献立は「茶めし」や「枕崎牛」のサイコロステーキ、鰹節と昆布から出汁をとった「コンカツすまし汁」など5品目の献立で挑みました。

山本さんは「この出場は枕崎のすばらしい食材、そして日頃からの地域の方々のご支援、ご協力があってこそのものであり、大変感謝しています。今後も地元食材を生かし、子どもたちに笑顔で食べてもらえるような学校給食づくりに努めていきたいと思っております」と話していました。



継～つなく～が初優勝
～第63回市内一周駅伝競走大会



市内一周駅伝競走大会が11月15日、市役所をスタート・ゴールとする市内一周19.1kmを周るコースで行われ、小学生から一般まで17チームが出場しました。

結果は次のとおり。

【高校・一般の部】①継～つなく～ ②別府中駅伝OB ③青雲寮A

【中学生男子の部】①枕崎中 ②別府中 ③継～つなく～中学生

【小学生の部】①FC枕崎 ②立神サッカースポーツ少年団 ③継～つなく～Jr.

消火設備取扱技術を競う
～屋内消火栓競技会



11月15日、施設等に設置されている消火栓の取扱技術を競う屋内消火栓競技会が、消防本部訓練場で開催されました。競技会には、市内6つの事業所から

8チームが参加し、日頃の訓練の成果を披露しました。優勝チームは、次のとおり。

【男性の部】小原病院・東チーム

【女性の部】小原病院・中山チーム

昆鯉 枕崎鯉大トロ丼～寿～
Show-1 グルメグランプリV2へ!

県内の商店街グルメNo.1 決定戦「Show-1 グルメグランプリ」。枕崎市通り会連合会では、昨年度グランプリを獲得した「枕崎鯉大トロ丼」に続き「昆鯉 枕崎鯉大トロ丼～寿～」で、2連覇殿堂入りを目指しています。そこで今回、本大会に向け応援バスツアーを企画いたします。

バスツアーの内容

- とき 2月14日(日)
- 場所 国分シビックセンター(霧島市)
- 募集人員 80名
- 料金 1,000円(飲み物つき)



応援バスツアー参加者募集!

※大会での食事チケット代1,200円が別途かかります(未使用分は会場内で換金できます)。

■行程 枕崎市役所【9:30発】⇒国分シビックセンター(大会会場)⇒霧島市付近観光名所2カ所めぐり(天候により変更有り)⇒枕崎市役所【17:15着予定】

■募集締切 1月29日(金)

■申込み・問合せ

- ・枕崎市通り会連合会商店街案内所「ぶらり」 TEL72-1644 (FAX兼)
- ・みつる表具内装店 TEL72-0043、FAX 72-0045

※指宿大会(1月24日)、本大会(2月13日、14日)のボランティアスタッフも募集しています。

「黒島流れ」恩を忘れない
～三島村に義援金を贈呈



8月の台風15号で甚大な被害を受けた三島村への義援金贈呈式が11月14日、南浜館屋外ステージで開催されました。贈呈式では、市民から寄せられた義援金を神園市長より、薩摩酒造のチャリティーイベントの益金を同社の本坊愛一郎専務より大山辰夫村長に贈呈されました。

この日は、ソフトボール大会のため、村営船「みしま」で多くの村民が枕崎に来ており、贈呈式には被害の大きかった黒島の住民らも参加しました。

大山村長は「1日でも早く住民の皆さんが、元の生活ができるように努めている中で、心のこもったお見舞金をいただき非常にありがたく思います」と話していました。

読み聞かせボランティアグループ
連絡会に優良読書グループ表彰



読み聞かせボランティアグループ連絡会(久木田弘子会長)が、11月18日に県民交流センターで開催された県図書館大会で、優良読書グループ表彰を受けました。

今回の表彰は、同会が平成21年の発足以来、市内の保育園や幼稚園、小学校、中学校、高齢者福祉施設での読み聞かせや自主研修会を積極的に行っており、また、市立図書館主催のイベント等にも参加していることから読書推進運動の進展と図書館活動の振興に寄与したことが認められたものです。

久木田会長は「みんなが協力し、続けてきた活動が評価されてうれしいです。これからも引き続き皆で力を合わせて頑張っていきたいです」と話していました。

竜巻被害を想定した
集団災害訓練を実施



11月7日、台場公園で集団災害訓練が行われ、旭町自主防災組織や消防団、医師会、県ドクターヘリなど約100人が参加しました。

訓練は旭町付近に竜巻が発生し、家屋などが被害を受け、走行中のマイクロバスに軽トラックが衝突し、多くのけが人が出たことを想定して行われました。

救急隊員や医師らが連携し、けが人の重症度に応じて治療の優先度を定めるトリアージと応急手当を行い、重傷者はドクターヘリで搬送するなどの訓練を行いました。また、旭町自主防災組織が火災を消火するためのバケツリレーの訓練を行うなど、参加者は息を合わせ、迅速に対応していました。

豊かな自然環境を次世代へ
～環境フォーラム



豊かな自然環境を次世代へ継承していくために自分の身の回りの環境について考えもらうことを目的に、環境フォーラムが11月21日、サン・フレッシュ枕崎で開催され、約150人が来場しました。

フォーラムでは、市内中学生の環境問題をテーマとした弁論発表や鹿児島水産高校生徒の研究発表、県地球温暖化対策課の永野詳二さんによる「地球温暖化対策」と題した講演などが行われました。

また、市内の環境保護を目的に活動をする3団体の代表と永野さんによるパネルディスカッションでは、各団体の活動状況や抱える問題等が発表された後、問題解決策などについて討論が行われ、来場者は環境に対する理解を深めていました。